



質問者  
楠 明廣議員

## 市長の所信表明と今後の市政運営について

問	市政運営について
問	道路や漁港などのインフラ整備をどのように考えているのか。
答	災害時の緊急輸送路確保のため龍野新大橋の耐震化や急傾斜崩壊対策等を行うほか、津波対策として防波堤などの港整備も行う。また、揖龍南北幹線道路の整備を着実に進めたい。
問	県議会議員時代に培った知識や経験を市政にどのように活かすのか。
答	また、県との繋がりを活かし、特別交付税を増やす考え方はないのか。
答	私自身の知識や経験を市政に發揮するために、議員各位や市民の英知を結集することが大切になる。また、兵庫県との繋がりを大切に、未来志向型の市政実現に取り組む覚悟である。なお、

**答** 各総合支所で市民と直接対話する「移動市長室」を12月から始めており、月1回の定期開催を考えている。さらに、今後は「まちづくりの集い」なども引き続き実施し、結果を市民へ報告する。

**JR西栗栖駅のトイレについて**

**問** JR西栗栖駅トイレの水洗化工事の進捗率はどうか。

**答** JR西日本に改修する考え方がないため、市の負担で改修することの同意はもらっていない。今後、維持管理などの協議が整えば、水洗化工事を実施したい。

**問** 古くなつた駅舎を建て替えないのか。

**答** JR西日本に改築する考えではなく、市の負担

**答** ように解決するのか。宿舎の存続を基本に、民間企業の経営企画提案を公募し、有識者による専門委員会を設け、民間企業からの提案を参考に経営形態の方針を本年度までに決定したい。

**答** どうに解決するのか。

所信表明から見える基本的な考え方、姿勢を問う	「声なき声に真摯に耳を傾ける」とあるが、移動市長室はその一つか。
<b>答</b> 市民の生の声を聴き、市民と行政が一体となることが、まちづくりを推進する上で最も重要である。「移動市長室」は、これまでの広聴活動に現場主義の観点を加え、市民と行政の距離を縮める新たな取り組みである。なお、「まちづくりの集い」などの広聴活動も引き続き実施していくたい。	<b>問</b> 「市民が主役の理念を市政に反映する」とあるが、具体的に何を指すのか。

**所信表明において4つの柱の中から伺う**

**問** 国においては、「放課後子どもプラン」を打ち出しており、赤穂市、相生市、上郡町などは既に「子ども教室」を取り入れているが、本市ではどうするのか。

**答** 「子ども教室」は、学校の余裕教室の確保や教育活動サポーターの確保の問題などがあり、本市での本格実施は困難と考える。しかし、本市では、各地域のスポーツ活動、公民館や図書館の交流・学習活動などが、「子ども教室」の趣旨と同様であり、また、「放課後児童クラブ」においても、学習支援や体験活動を取り入れるなど「放課後子どもプラン」の趣旨に沿った事業を実施している。

では、イベント開催時に臨時駐車場として龍野公園グラウンドや揖保川河川敷を利用している。また、本竜野駅からのアクセスは、日曜日を除きコマバスが運行しているが、町歩きをされる徒步の方が多い。いずれにしても、充足した状況ではないので、観光タクシーなどの対応も検討したい。

**問** 地域の中に歴史的建物、文化施設が混在しているが、観光資源に対する担当部局の相違による弊害はないのか。

**答** 観光客の窓口になる商工観光課や観光協会においては、イベントの開催や臨時休館など情報の共有に努めているが、今後はさらに、商工観光課で総合的な調整ができるよう、新たな体制づくりなど充実した観光客の受け入れ体制を検討したい。

では、イベント開催時に臨時駐車場として龍野公園

7 たつの市議会だより